

『六ヶ所村ラブソディー』『ミツバチの羽音と地球の回転』の鎌仲ひとみ監督最新作!

小さき声のカノン

— 選択する人々 —

Little Voices from Fukushima Directed by Hitomi Kamanaka

福島—チエルノブイリ

国境を越えて

「被ばく」から子どもを守る
母たちのドキュメンタリー

希望は「心」にある

「保護」
のために?



後援

監督 鎌仲ひとみ × 音楽 Shing02 × 製作 ぶんぶんフィルムズ
www.kamanaka.com/canon 2014年 カラー デジタル 119分 配給 ぶんぶんフィルムズ
主備: 小さき声のカノン上映・監督講演実行委員会 In 岩手

いわて生活協同組合 キリスト者9条の会 憲法九条を守る紫波町民の会 憲法九条を守る古館の会
原発からの早期撤退を求める岩手学識者の会 盛南コープ 平和憲法九条を守る都南の会
盛岡医療生活協同組合 三陸の海を放射能から守る岩手の会

子どもたちに いま ほ ょう 必要な「保養」とは？



国境を越えてつながっていく、「子どもたちを守りたい」という思い。

福島原発事故後、子どもを被ばくから守るため避難を選択する人もいれば、福島で暮らすと決めた人もいます。福島で暮らすと決めたお母さんたちは、泣いてばかりでは解決しないと、子どもを被ばくから守るため自ら新しい選択肢を作り出していこうと動きだす。

一方、チェルノブイリ原発事故後のベラルーシでは子どもたちの被ばくを軽減する「保養」という取り組みが29年経った今でも続けられている。その具体的な内容と驚くべき効果とは？

事故から4年、日本でも被ばくを軽減する新しいステージが始まった。放射能についての危機感がしだいに薄れ、事故の風化がささやかれる今だからこそ、誰もが観るべきドキュメンタリー。



同じように悩み、迷ってきた母親の一人です。
現実には厳しいけれど、
お母さんたちの連帯から生まれる
希望が描かれていることに、励まされました。
この映画を通して、
さらなる連帯が広がることを願っています。

俵万智さん（本人）



小さき声のカノン — 選択する人々

Little Voices from Fukushima

出演：福島県二本松市のお母さんたちほか
監督：渡辺ひとみ / プロデューサー：小島雅彦 音楽：Shingo 撮影：新田幸子 編集：渡辺宏一 編集：島本裕 助監督：若原祐
宣伝：渡辺和恵 村井卓実 製作・配給：ふんふんぷりん 2014年 / カラー / デジタル / 119分 / 全米映画祭上映中

www.kamanaka.com/canon

お問い合わせ 「小さき声のカノン」プロジェクト TEL 03-3341-2870 MAIL movie@kamanaka.com



11月21日(土)

前売券：1,000円
(当日：1,200円)



主催者：小さき声のカノン上映・監督講演実行委員会in岩手

1回目：10:00～ 2回目：14:30～
監督講演 12:45～
場所：奥羽キリスト教センター

盛岡市大沢川原3-2-27

3回目：18:00～
場所：認定こども園ひかりの子2F
紫波町日詰字下丸森130

問い合わせ先
代表：井上智 (090-2063-4269)